

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 奄美市立金久中学校 】

1 実践テーマ	I・II・ <b>III</b> ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1・2年生 215人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )</li> <li>② 行事名 ( オリンピック・パラリンピック事業 )</li> <li>③ その他 ( )</li> </ul> <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① イベント名 ( )</li> <li>② その他 ( )</li> </ul>
4 目標 (ねらい)	<p>○ オリンピック・パラリンピック事業を通して、共生社会の構築を目指して、他者への理解、障害のある方への理解を深め、互いに支え合おうとする態度を育てる。</p> <p>○ パラリンピアンへの考えや生き方にふれることで、勇気をもって自分の人生をよりよくしていこうとする態度を育てる。</p>
5 取組内容	<p>○ 総合的な学習の時間「パラリンピアンからバリアフリーを考える」 オリンピック・パラリンピック教材「I'm POSSIBLE」を使い、1・2年生の全てのクラスに授業を実施した。</p> <p>○ 職員研修 令和3年度教育課程の中にもこの事業を明確に位置付けることによって、計画的に進めることができ、より多くの生徒や職員に浸透していくと考え、11月12日、講演会の前日に早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターから岡田悠佑氏を講師として招き、本校の職員研修の中で上記のねらいを達成すべく全職員に講話を実施した。</p> <p>○ パラリンピアン「網本麻里氏 講演会」 当初の計画では、講演と車椅子体験の時間を50分ずつに予定していたが、網本さんの全ての生徒に車椅子体験をさせたいという強い思いから、体験に多くの時間を費やすことになっ</p>

	<p>た。最後の質疑応答では東京オリンピック・パラリンピックへの思いを語っていただいた。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害のある人は私たちの何倍も苦労して生活していることが分かり、学習を通して、バリアフリーを実現するために日常生活で何ができるかを考えるようになった。</li> <li>○ スポーツや芸術活動などを通して、障害者の活躍の場を広げ、障害が1つの個性として認められてどんな人でも暮らしやすい優しい世界を作りたいと考えられるようになった。</li> <li>○ 網本さんの「やらないで後悔するよりやって後悔したほうがよい」という言葉が胸に刺さり、何事にもチャレンジしていこうという前向きに捉えようとする生徒が増えた。</li> <li>○ 車椅子やパラリンピックにあまり興味がなかった生徒が、来年の東京オリンピック、パラリンピックで網本さんを応援したいと思えるようになった。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本来であれば全校生徒を対象に実施したかったところだが、感染拡大防止のため、1学年ずつ体育館で時間を区切って実施し、体験をしていない間は、リモート中継を使い教室で参観するという形をとった。今回は奄美テレビさんのご協力もあり、いつもの校内 ZOOM よりも画質、音声の方がより鮮明だったため、教室で参観している生徒も集中を切らさずに参加できていた。</li> </ul>
<p>8 主な課題 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回半年をかけて打合せや授業作りに準備を費やしてきたが、昨年の段階から教育課程上に盛り込んでいなかったため、総合的な学習の時間で十分な事前学習ができなかった。校内での車椅子体験や街に出てバリアフリーの施設を探す等の事前体験が十分であれば、生徒の意識の変化も違ったのではないかと考える。また、障害者に限らず、もう少し考え方の枠を広げて人権問題にも言及できれば、思考の広がりや深まりがあったのではないかと思う。</li> </ul>
<p>9 来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 来年度は教育課程全学年の1学期に道徳、特別活動、総合的な学習の時間に計画的に盛り込み、1年をかけてオリンピック・パラリンピック教育並びにインクルーシブ教育を実践していきたい。</li> </ul>